

一般社団法人日本バルブ工業会 中期活動計画

# V80 STAGE I (2024-2026)

～From Now 70<sup>th</sup>～

「会員の期待以上に満足度の高い工業会を目指して」

<共通監視指標>

- ・新規会員加入数
- ・各事業・行事ごとの参加社数（参加率）
- ・各アンケート回答率（会員、環境、安全）
- ・研修参加社数（リピート、新規）、研修・講演会アンケート満足度
- ・刊行物発行部数

## 重点課題 1. 大山理事

サステナブルな  
バルブ業界へ

脱炭素化委員会  
環境委員会  
水栓部会

## 重点課題 2. 北村理事

次世代人財育成と  
働きやすい職場へ

人財育成委員会  
バルブ女史 NW 清流会  
バルブ部会 安全衛生委員会  
技術委員会

## 重点課題 3. 濱口理事

情報・事業の活性化  
による認知度・  
満足度向上

広報委員会  
技報編集委員会  
4支部 3部会

## 重点課題 4. 河野理事

業界ネットワーク、産  
官連携強化による  
地位向上

4支部 3部会  
環境委員会 技術委員会  
ほか

期待度、ニーズの高い事業（課題解決、研修・講演会、見学会、異業種・他団体・省庁・産学連携、会員間交流）をスピーディーに企画、推進、解決していくことで、会員の満足度が向上し、結果として業界が持続的に発展することを期待。

(一社)日本バルブ工業会 中期活動計画 **V80 STAGE I (2024-2026) ~From Now 70<sup>th</sup>~**

重点課題	<b>1. サステナブルなバルブ業界へ</b>			
必要な取組み	<b>A. CO<sub>2</sub> 排出量の削減</b>	<b>B. 化学物質規制への対応/適応</b>	<b>C. 環境負荷低減バルブの普及</b>	<b>D. 環境教育・環境関連情報の提供</b>
2024-2026 年度の実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① CO<sub>2</sub> 排出量と会員各社のカーボンニュートラル (CN) 対応状況のより正確な把握 [環境委]</li> <li>② 2030 年度 CO<sub>2</sub> 排出削減目標値の具体化 [脱炭素化委]</li> <li>③ 経営層の CN 取組み意識の向上 [脱炭素化委]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 欧州 PFAS 規制案への対応、国内関係省庁/団体等との協力 [環境委]</li> <li>② 製品含有化学物質管理手法に関する情報提供 [環境委]</li> <li>③ 製品含有化学物質管理のためのサプライヤーとの協力関係構築 [環境委]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 水栓 LCA の導入検討 [水栓部会]</li> <li>② カーボンフットプリント (CFP) の工業会指針/基準の導入検討 [環境委]</li> <li>③ 「環境配慮バルブ登録制度」の見直し [環境委]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① セミナー開催の体系化 [環境委]</li> <li>② 環境メルマガ、ホームページ環境コンテンツの拡充 [環境委]</li> <li>③ 環境意識向上のための事業 [環境委]</li> </ul>

<p><b>2024 年度の活動予定・目標など</b></p> <p>A①：環境活動調査回答率を上げる（前回 60%⇒65%に。26 年度目標は 75%）。</p> <p>A②：環境活動調査による CO<sub>2</sub> 排出量の把握と削減目標値の算出</p> <p>A③：省エネ事例の収集・整理および会員企業への周知</p> <p>B①：ECHA（欧州化学品庁）との協議及び業界意見のとりまとめ</p> <p>B②：会員の事例紹介セミナーの企画、PFAS 規制施行後を見据えた対策の検討など</p>	<p>C①：水栓の LCA 構築に向けた活動の実施。2025 年度中の構築を目標とする。</p> <p>C②：CFP への委員の理解度を高め、業界内外の動向調査を進める。</p> <p>C③：会員ニーズへの対応、ユーザーへの訴求力向上を目指し、制度変更の方向性を検討</p> <p>D①：製品含有化学物質管理に関する初級者向けセミナー開催（11 月頃）</p> <p>D②：CN に関する Q&amp;A コンテンツを開設（24 年 9 月まで）</p>
---	---

(一社)日本バルブ工業会 中期活動計画 V80 STAGE I (2024-2026) ~From Now 70<sup>th</sup>

重点課題	2. 次世代人財育成と働きやすい職場へ			
必要な取組み	A. バルブ業界の技術力向上	B. 女性社員のモチベーションアップ のための働きかけ	C. 人財確保／育成のための 研修事業の拡充	D. 労働災害撲滅への対策
2024-2026 年度の実施 事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① バルブ初級研修による技術力の底上げ [技術委]</li> <li>② 基本技術の共有化 [技術委]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 働き方を考えるきっかけづくりのための意見交換会実施 [女史 NW]</li> <li>② 多様性に関する知見を深めるための有益情報の展開 [女史 NW]</li> <li>③ 「経営者インタビュー」継続による考え方や事例展開 [女史 NW]</li> <li>④ 女性の工業会事業への参加促進 [全組織]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 人財確保・定着のための事業・研修の企画 [清流会・バルブ部会]</li> <li>② 人財バンク制度の導入検討 [人財育成委]</li> <li>③ 分野別研修メニュー補強 [人財育成委]</li> <li>④ 研修会ネットワークの新設 [人財育成委]</li> <li>⑤ 表彰制度・技術力認定制度による技術者のモチベーション向上 [技術委]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① バルブ安心安全ネットワーク (安全 NW) 活性化 [安全衛生委]</li> <li>② 実地での労働安全学習機会増 [安全衛生委]</li> <li>③ リスクアセスメントの水平展開と定着化 [安全衛生委]</li> </ul>

<p><b>2024 年度の活動予定・目標など</b></p> <p>A①②：バルブダイジェストの内容を見直し、会員向け・公開講座の各講義テキストに反映・内容改善を実施</p> <p>B①：会員企業女性社員との意見交換会から、「自分らしさ」についての振り返りを実施</p> <p>B②：LGBTQ セミナーの開催（全会員企業を対象：オンライン形式）</p> <p>B③：経営者インタビューの開催および実施報告書の web 展開</p> <p>C①：人財確保のための課題共有とセミナーの実施。次年度以降は人財定着のための施策を検討</p> <p>C②：法令などを再調査し、工業会で実施可能な方法の考案</p>	<p>C③④：研修事業の参加率・満足度の現状把握を行うとともに、事業一覧表で全体に見える化を図り、会員各社と直接的なニーズ・期待を確認するための組織を新設</p> <p>C⑤：ものづくりに関する外部で実施中の表彰・認定制度を収集・発信</p> <p>D①：安全 NW 登録社数増（51 社⇒60 社以上に）。NW メンバー間情報交換ツール導入の検討</p> <p>D②：工場見学会開催（9 月）。NW メンバー間での相互安全パトロールの検討</p> <p>D③：リスクアセスメント実施の推進。安衛法改正への対応（セミナー等）</p>
---	--

(一社)日本バルブ工業会 中期活動計画 **V80 STAGE I (2024-2026) ~From Now 70<sup>th</sup>**

重点課題	<b>3. 情報・事業の活性化による認知度・満足度向上</b>			
必要な取組み	<b>A. 積極的な情報発信 (広報活動の促進)</b>	<b>B. 技術力向上のための 情報発信・活動強化</b>	<b>C. 組織活性化のための参画率・ メンバー数増の取組み</b>	<b>D. 新規会員増・定着のための 取組み</b>
2024-2026 年度の実施 事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① SNS ツールの活用拡大化 [広報委・バルブ部会]</li> <li>② バルブフォトコンテストの開催 [広報委]</li> <li>③ ばるちゃん演出企画の強化 [広報委]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 異業種団体との交流・情報交換 [バルブ部会]</li> <li>② バルブ業界の技術力の認知度向上 [技術委・バルブ技報編集委]</li> <li>③ 国内外の技術情報の収集と発信 [技術委・バルブ技報編集委]</li> <li>④ 法令改正など重要情報の的確な発信と啓発の促進 [事務局]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① メンバー数の増加 [清流会]</li> <li>② 組織行事への参画率の増加 [全組織・下記は水栓部会]</li> <li>③ 若手社員の工業会事業への参加促進 [バルブ部会、自動弁部会、水栓部会]</li> <li>④ 若手メンバーによるショップツアー-WG 新設 [自動弁部会]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 会員企業取引先への入会勧誘 [全組織]</li> <li>② 大規模集会(総会や新年賀詞交歓会)での新入会企業の紹介</li> </ul>

<p><b>2024 年度の活動予定・目標など</b></p> <p>A①：広報委 SNS WG の活動強化</p> <p>A②③：SNS ほか紙・動画媒体などの周知ツールの見直しを図り、70 周年記念グッズ・パペット活用のうえ、コンテストの運営改善・展示会出演（年 3 回）を実施</p> <p>B①：24 年度中の開催を目指し、各分科会で企画推進</p> <p>B②③：バルブダイジェストを属性別に刷新した情報発信ツールの改善を行い、技報の読者アンケート・販売ページのアクセス数から購読・贈呈者が希望する特集テーマを収集</p>	<p>C①：1 社のメンバー増加の達成。各社の繋がりや工業会の行事などを利用して参加を呼び掛け。3 年間で計 3 社の新規参画を目標とする。</p> <p>C②：過去 3 年間の平均行事参加率（約 75%）を 5%増加させる。各社の繋がりや工業会の行事などを利用して参加を呼び掛け。</p> <p>C④：会員各社の若手人財自らが希望する見学先や運営方法へのニーズ・提案を確認するための組織を新設</p>
--	---

(一社)日本バルブ工業会 中期活動計画 V80 STAGE I (2024-2026) ~From Now 70<sup>th</sup>

重点課題	<b>4. 業界ネットワーク、産官連携強化による地位向上</b>		
必要な取組み	<b>A.</b> <b>関係省庁との連携強化</b>	<b>B.</b> <b>ユーザーニーズに即したツール活用</b>	<b>C.</b> <b>組織横断の推進による会員の交流活性化と知見機会拡大</b>
2024-2026年度の実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 水道法関係省庁との関係構築 [水栓部会]</li> <li>② 経済産業省 産業機械系窓口とのコンタクトづくり [事務局]</li> <li>③ 関連団体マップの活用 [事務局・技術委]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ユーザー向けコンテンツ制作 [バルブ部会]</li> <li>② ユーザー団体との交流・意見交換 [バルブ部会]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 部会事業の共同企画／相互参加の促進 [バルブ部会、自動弁部会、水栓部会]</li> <li>② 委員会、支部間の事業連携の促進（見学会、講演会など） [支部、委員会]</li> </ul>

<p><b>2024 年度の活動予定・目標など</b></p> <p>A①：水道行政移管にともなう関係省庁（国土交通省、環境省）との関係構築。次年度以降も定期的な訪問を実施。</p> <p>A③：マップを刷新して現状の見える化を行い、関係省庁・団体向けに刷新するバルブダイジェストの内容検討</p> <p>B①：バルブ使用時の注意に関する動画制作（24 年度中公開）。</p> <p>B②：電力用途ユーザー向け講習会開催（24 年度中）。</p> <p>C①：部会長会議による情報共有と事業連携の推進体制構築。</p>	
---	--